

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地					
専門学校 未来ビジネスカレッジ	昭和61年10月30日	千村 重平	〒390-0841 松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500					
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地					
学校法人未来学舎	昭和61年10月30日	理事長 青山 織人	〒390-0841 松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500					
目 的	<p>本校は、学校教育法及び専修学校設置基準に基づき、高等学校における教育の基礎の上に、職業もしくは実際生活に必要な技能と教養の向上を図るため、情報ならびに経営に関する専門的な教育を行い、社会の発展に寄与できる優秀な人材を育成することを目的とする。</p> <p>本学科では、エステティック、ネイル、メイクアップの実習を中核として学び、AEA上級認定エステティシャン、ネイリスト技能検定、アロマセラピー検定などの専門資格の取得を目指す。各現場で必要となる技術の幅を広げる為に、リフレクソロジー、ヘアアレンジ、色彩学なども学ぶ。また、接客マナーやパソコンスキルを身につけ即戦力となる人材を育成する。</p>							
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	トータルビューティー学科		平成23年12月22日 文部省告示第167号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	62	18	6	66	—	—	—
単位時間								
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数
60人		13人		4人		5人		9人
学期制度	■前期：4月1日～9月24日 ■後期：9月25日～3月31日			成績評価		■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 出席数(1単位につき90分授業15回以上の出席)、授業態度、期末試験・期末課題等により、秀、優、良、可、不可の5段階評価		
長期休み	■学年始め：4月10日 ■夏 季：7月26日～8月20日 ■冬 季：12月20日～1月 9日 ■春 季：2月24日～4月 8日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件		■進級条件：なし(単位制) ■卒業条件：62単位以上取得		

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制「有」 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 学校祭、スポーツ大会(年1回) 運動会(年1回)、学科研修旅行 学外スチューデントサロン
	<ul style="list-style-type: none"> ■長期欠席者への指導等の対応 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携) 		<ul style="list-style-type: none"> ■サークル活動： 有
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先 エステティックサロン、ネイルサロン 	主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ■エステティシャンセンター試験 ■AEA上級認定エステティシャン ■ネイリスト技能検定試験 ■ジェルネイル技能検定試験 ■ネイルサロン衛生管理士 ■色彩検定 ■アロマセラピー検定 ■ワープロ検定 ■文書デザイン検定 ■表計算検定
	<ul style="list-style-type: none"> ■就職率^{※1} : 75% 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 75% 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■その他 		
	<p>(平成29年度卒業者に関する 平成30年3月31日時点の情報)</p>		
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 2名 ■中退率 13.3% 平成29年 4月 1日在学者 15名 (平成29年4月入学者を含む) 平成30年 3月31日在学者 13名 (平成30年3月卒業生を含む) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学の主な理由 学校不適合、家庭の事情、進路変更 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■中退防止のための取組 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携) ⑤各種心理検査の活用 		
ホームページ	URL : http://www.mirai.ac.jp/mit		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
（「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

トータルビューティー学科において、美容業界（エステ、ネイル、メイク）に就職することは在籍する学生の主たる目的であり、美容業界の現場が求める人材を把握し、より実践的な人材育成のために一貫した教育を施す必要がある。そのため、各業界の最前線で活躍する外部人材を活用し、学校と業界等が参画する教育課程編成委員会を設置し、委員会での協議事項について教務部で検討した結果を以後の教育課程編成及び、授業内容に反映することを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 30 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
清水 強	学校法人未来学舎松本医療福祉専門学校 学校長
山田 佳代子	ポアレスチュール 経営者
藤原 聖子	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 学科長
丸山 陽子	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 学科講師

(開催日時)

第1回	平成26年	9月	6日	16:10~17:10
第2回	平成26年	10月	8日	12:45~13:20
第3回	平成27年	2月	24日	14:30~15:15
第4回	平成27年	9月	8日	15:30~17:00
第5回	平成28年	2月	16日	9:30~10:00
第6回	平成28年	10月	17日	15:40~16:30
第7回	平成29年	2月	18日	12:00~13:00
第8回	平成29年	10月	2日	14:00~15:00
第9回	平成30年	2月	27日	14:00~15:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために学校と企業が講師契約を締結し、その連携のもと、美容業界の人材育成ニーズに沿った教育課程に基づき、外部講師による実践教育の機会を提供し、エステティック、ネイル、メイク等美容業界での職業観・勤労観を育むとともに、知識と技術の向上を図ることを企業等との連携に関する基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
ネイルケア 実習	ネイルテクニックの基本であるネイルケアを学ぶ。技術面とともに基礎知識も習得する。爪の構造と働き、皮膚科学、生理解剖学、爪の病気とトラブル、消毒法(衛生管理)などを学び、公益財団法人 日本ネイリスト試験センター主催のネイリスト技能検定3級を目指す。	ネイルサロン Charm
プロフェッショナルメイク	メイクアップした人の魅力を引出し、様々な顔立ちに対応できる印象別メイクアップを創造する力をつける。さらに、ブライダルメイク(和装・洋装)、デザインメイクなどの技術のスキルアップを高める。	きれい工房 samantha Me

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修は、教職員に対し、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に関わる職務の遂行に必要な知識又は技能を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

このことは、以下のように就業規則第19条にも定められている。

「教職員は、その職務の遂行のため、自発的研修に励み、かつ、学校または各種団体の行う研修を受け、資質の向上に努めなければならない。」(細則については【添付1-3-1】参照)

トータルビューティー学科においては、エステ、ネイル、メイク等の美容業界で必要とされる実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される。関係団体、職能団体及び企業等が実施する研修、セミナー、各種展示会(業界動向調査)等に積極的に教員を参加させる。さらに、指導力の修得・向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成30年3月31日現在

名前	所属
伊藤 亮二	松本商工会議所 事務局長
片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 准教授
澤田 友行	ナチュラル・サワダ 代表
荒崎 元徳	株式会社たちばな Web事業部 レンタル衣裳・COMチーム
山田 佳代子	ポアレスチュール 経営者
小野 キミ子	Wonder House 経営者
溝口 諒	でざいんと 経営者
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 放射線部 技師長
田中 優子	卒業生同窓会 会長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit> 【情報公開】 ページ

5. 情報提供

(情報提供の方法)

学校ホームページ、広報誌等の刊行物、その他(学科ブログ、スチューデントサロン)

URL : <http://www.mirai.ac.jp/mit> 【情報公開】 ページ

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 トータルビューティー学科)平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		情報リテラシー	パソコン OS の基本操作、インターネット活用、ワープロ、表計算、プレゼンテーション技法など、企業で多く活用されている Office 系ソフトの基本操作を習得し、検定取得を目標とする。	1・2通	180	6			○	○		○		
	○		キャリアプランニング	キャリア教育の一環として、ライフデザインの考え方、他者とのコミュニケーションの取り方、履歴書作成、企業情報の取得方法、面接指導などを実施する。	1・2通	90	3	○			○		○		
	○		実務教養	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【サービス接客マナー、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用 SPI 対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	1・2通	60	2	○			○		○		
	○		総合演習	リメディアル教育【読み・書き・計算】及び生きる力【生活指導・道徳指導・内外ボランティア】など、専門知識・技能の修得の土台となる学習態度・基礎的知識を向上させる。	1・2通	60	2		○		○		○		
○			ネイルケア実習	ネイルテクニックの基本であるネイルケアを学ぶ。技術面とともに基礎知識も習得する。【爪の構造と働き、皮膚科学、生理解剖学、爪の病気とトラブル、消毒法(衛生管理)など】公益財団法人 日本ネイリスト試験センター主催のネイリスト技能検定試験3級を目指す。	1前	60	2	△		○	○			○	○
	○		ネイルアート	ネイルアートに関する基本的な技術【ジェルネイル・アクリル絵の具によるアートペイント】を学ぶ。ネイリスト技能検定試験2級、ジェルネイル技能検定試験初級の課題アートを中心に習得する。	1後	60	2			○	○		○		
○			フェイシャル実習	お客様の肌状態に合ったトリートメントを行えるように、クレンジング、マッサージ、パックなどの基礎的な技術やフェイシャルカウンセリングを身に付ける。エステティシャンセンター試験合格を目標とする。	1通	120	4	△		○	○		○		
	○		エステ機器実習	エステティックサロンで広く使われているエステ複合機器を使用した技術を習得する。スチーマー、吸引、ブラシクレンジング、パターン、エレクトロクレンジング、イオン導入など。	1・2後	60	2	△		○	○		○		
○			ボディマッサージ実習	お客様の状態に合ったトリートメントを行えるように、ボディマッサージの基礎的な技術やボディカウンセリングを身に付ける。エステティシャンセンター試験合格を目標とする。	1通	120	4	△		○	○		○		

(商業実務専門課程 トータルビューティー学科)平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		エステティック理論	エステティックに必要な基本知識(心身生理学、運動生理学、栄養学、エステティック概論、化粧品学、電気学、衛生消毒、フェイシャル実技、ボディ実技、ワックス脱毛実技理論概論など)を習得する。	1前	60	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルメイク	メイクアップした人の魅力を引出し、様々な顔立ちに対応できる印象別メイクアップを創造する力をつける。さらに、ブライダルメイク(和装・洋装)デザインメイクなどの技術のスキルアップを高める。	2前	30	1			○	○		○	○	
○			ベーシックメイクアップ	肌質、年齢、骨格など、それぞれのお客様に合わせたメイクアップを学びます。技術の習得にあたり、メイクアップ化粧品の特徴と適切な使用法、色、形、配置バランスなどを学び美容のプロとしての基礎を身に付ける。	1前	60	2	△		○	○		○		
○			解剖生理学	エステティック術を正しく行うために必要な、人体の「構造」と「機能」について学ぶ。	1後	30	1	○			○		○		
○			基礎実技理論	ネイル・エステに必要な美容技術について、衛生的、能率的、安全に実践するために必要な知識と心構えを学び理解する。サロン内で起こりうるアクシデントにも対応できる知識や応急手当なども学ぶ。	1前	60	2	○			○		○		
○			皮膚科学	エステティック施術を正しく行うために必要な、皮膚の構造、働き、スキンケアの知識を習得する。	1前	30	1	○			○		○		
○			東洋・西洋セラピー	エステティックの応用として、さまざまな国のセラピー(リフレクソロジー、アロマセラピーなど)の理論・実技を習得し検定取得を目指す。	2後	60	2	○		△	○		○		
○			サロンワーク実習	サービス業のプロフェッショナルとして必要な心構えを学ぶことを目標とし、学内でエステティック・ネイルサロンを展開し、授業だけでは学べない力を養い現場力を身に付ける。【コミュニケーションスキル、会話スキル、ホスピタリティスキルなど】	2後	90	3			○	○		○		
○			ネイル実習	日本ネイリスト協会認定校の規定に基づき技能検定2～1級の実技、理論を学ぶ。【ネイルケア、ネイルエクステンション、ネイルリペア、ネイルアート、プロフェッショナルリズム、技術理論など】	1・2通	180	6	△		○	○		○		

(商業実務専門課程 トータルビューティー学科)平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ジェルネイル実習	ジェルネイルについての基本理論を学ぶ。【概論、材料の基本理論、用具の衛生管理など】 又、サロンワークで必要とするジェルネイルの安全な使用方法、トラブルの要因と対策、ジェルネイル技能検定試験中級を目指す。また、様々なアートを習得する。	2前	60	2	△		○	○		○	○	
	○		ネイル総合演習	ネイルサロンで多く活用されている、アクリル、ジェルネイルのデザインの技法を習得するために、更なる技術の向上を目指す。また、ネイル技能検定試験やジェル技能検定試験合格を目指した対策授業を行う。	2通	60	2		○	△	○		○		
	○		上級ネイル実習	日本ネイリスト協会認定校の規定に基づきネイル技能検定試験 2～1 級の更なる技術の向上を目指す。【ネイルケア、ネイルイクステンション、3Dアートなど】	2後	60	2			○	○		○	○	
	○		ネイル3Dアート	3Dアートについての基本理論を学ぶ。【概論、材料の基本理論、用具の衛生管理など】技能検定 1 級の課題となる3D アートをメインにエンボスアート、フラットアートを組み合わせたデザイン性のある技術を習得する。	2前	30	1			○	○			○	
	○		ヘアアレンジ	ヘアアレンジの基本となる技術を学び、お客様の要望に応えるアレンジができる技術を習得する。また、ブライダルにおける基本的な洋装、和装スタイルを学ぶ。	1・2通	150	5			○	○			○	
	○		プロフェッショナルメイク応用	ブライダル和装、洋装メイク、デザインメイクなどの技術のスキルを磨き、成果を作品にして表現する。学内のコンテストへの出品を目標とする。	2後	30	1			○	○			○	
	○		アドバンスメイクアップ	メイクアップに必要な技術や知識(色、形、配置バランス)のスキルをアップさせるために、多くの相モデルとトレーニングを重ねる。メイクカウンセリングも習得する。	1後	60	2			○	○			○	
	○		エステティック応用理論	エステティックに必要な知識(化粧品学、電気学、サロンマネジメントなど)の知識を習得する。また、エステティシャンセンター試験合格を目指し筆記試験対策を行う。	1後	30	1	○			○			○	
	○		上級エステティック実習	1年次に身に付けた基礎を応用し、よりお客様個人にあったトリートメントを選択し、行えるようにする。AEA 上級認定エステティシャンの資格取得を目標とする。	2通	240	8	△		○	○			○	
	○		応用実技理論	対応力のある施術やアドバイスができる為に必要な、応用知識(アロマセラピー、色彩学、脱毛学など)を学ぶ。	2前	60	2	○		△	○			○	

(商業実務専門課程 トータルビューティー学科)平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験 実習 実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		サロン実務	学内サロンにおいて業務経験を通じ、現場で必要とされる技術やサービスの実際を知ることで、今後の重点学習項目をより実戦的に捉える機会とする。	2通	60	2			○	○		○		
	○		サービス概論	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を習得するために、サービス接客検定取得を目指す。	1前	30	1	○			○		○		
	○		ホスピタリティ概論	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を習得するために、ホスピタリティ検定取得を目指す。	1後	30	1	○			○		○		
	○		プレゼンテーション	パワーポイントを用いて、自分の持っている情報・事実・考え方を相手にわかりやすく正確に伝えるために必要な手法を学ぶ。	2通	60	2		○		○		○		
	○		総合実習	学習を通して得た知識・技術の向上を目的とし各自の専門分野を追求する。	2通	60	2			○	○		○		
	○		卒業研究・制作	2年間の学習を通して得た知識を活用し、各自がテーマを設定し業界研究や制作を行う。	2後	270	9			○	○		○		
合計			34 科目		1860 単位時間(62 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件:62 単位以上の単位取得 履修方法:【必修科目】15 単位【選択必修科目】47 単位 単位制履修に関する留意事項 ①30 単位時間を 1 単位とする。1 年間に取得できる単位は最大 45 単位までとする。 ②単位数が 2 以上の科目は、30 単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	17 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。